

公式観光ガイド 2026

ヴェルサイユ宮殿

ヴェルサイユ · ～から 32€

https://chateauversailles.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 公式料金



歴史 & エクスペリエンス

起源と歴史

太陽王の野心と絶対王政

GOOGLE 4.6 ★★★★★ 166 768 レビュー

TIQETS 4.5 ★★★★☆ 11 687 レビュー

ヴェルサイユ宮殿の起源は、1623年にルイ13世が建てた質素な狩猟小屋にまで遡ります。当初は単なる風車と湿地帯だったこの土地は、ジャン＝フランソワ・デ・ゴンディによって国王に売却され、その後、フランス王権の象徴へと劇的に変貌していきます。ルイ14世は自身の絶対君主制を確固たるものとするために、この地を選定し、壮大な建築プロジェクトを開始しました。

1682年5月6日、王室と政府が公式にヴェルサイユに移転し、ここは実質的なフランスの首都となりました。摂政期を除く約100年間、ヨーロッパの政治的・外交的な中枢として機能し、貴族たちは国王の視線から逃れることなく生活を送らなければなりませんでした。この閉鎖的な空間は、権力の集中と監視のメカニズムそのものであり、歴史上稀有な社会実験の場でした。

建築家ルイ・レヴォー、ジュール・アルドゥアン＝マンサール、庭園設計者アンドレ・レノートルらが手がけたこの複合施設は、**2,300**室という驚異的な規模を誇ります。鏡の間や太陽の間など、各部屋は芸術と政治のプロパガンダが融合した空間であり、訪れる者の心を奪う美意識と威厳が息づいています。バロック様式の極致とも言えるこの建築群は、当時の技術と芸術の粋を集めた成果です。

1789年のフランス革命により、王室はパリへ戻りますが、ヴェルサイユはその栄光を失いませんでした。ルイ・フィリップ王の時代に「フランスのすべての栄光のための博物館」として再定義され、現在では世界遺産に登録されています。かつての王権の中心地从は、今や人類共通の文化的宝庫となり、歴史の証人として静かに語り続けています。

体験

プラース・ダルムを抜け、正面玄関から宮殿内部へ足を踏み入れる瞬間、訪れる者は圧倒的な豪華さと静謐さに包まれます。黄金色に輝く装飾、巨大な鏡が反射する光、そして大理石の床が放つ冷たい気品が、絶対王政の威厳を体感させます。ここでは、時間さえも止まったかのような重厚な空気が漂い、過去の栄華が眼前に蘇るのです。

一方、広大な庭園に出ると、別世界の開放感が広がります。幾何学的に整えられた緑地、噴水の水音、遠くに見えるグラン・トリアノンの姿が、人工と自然の調和を示しています。**815**ヘクタールに及ぶ公園内を歩けば、都市の喧騒からは切り離された平和な時間が流れ、五感が覚醒する体験が待っています。



訪問の準備

実用的な情報

住所

ヴェルサイユ・アクセス：RER C線「ヴェルサイユ＝シュトー＝リヴ＝ゴーシュ」駅（プラース・ダルムへの直結出口）またはTransilien LV/J線電車。

営業時間

火曜日は休館。季節や学校休暇により変動します。訪問前に必ず公式サイトでご確認ください。

料金

32€から。年齢に応じて子供は無料。予約必須が推奨されます。

所要時間

城のみでも最低3時間を見込んでください。庭園やトリアノンも含めた完全な体験には、5〜6時間を計画してください。

写真撮影

城内では作品保護のため、フラッシュや三脚なしの写真撮影が可能です。庭園やトリアノンでは自由です。他の来場者に配慮してください。

対象客層

すべての年代に適した施設。子供たちは王妃の村を気に入るでしょう。城内の狭い階段では大型ベビーカーにご注意ください。

LOCALISATION

Où se trouve ヴェルサイユ宮殿 ?



📍 Palace of Versailles, Place d'Armes — 78000 ヴェルサイユ

🌐 48°48.292′ N, 2°7.221′ E



組織

効率的な動線とエリア構成

レベル1：宮殿（シャトー）

王の私室、鏡の間、戦争の間、平和の間など、絶対王政の象徴となる主要なサロンが並んでいます。天井のフレスコ画や壁面のタペストリーは、ルイ14世の功績を称えるための壮大な叙事詩です。ここで最も重要なのは、各部屋の配置が儀式の進行に合わせて設計されている点です。

レベル2：庭園（ジャルダン）

宮殿から直接アクセスできる広大な庭園エリアです。大運河（グラン・カナル）を中心に、彫像や噴水、樹木が幾何学的に配置されています。特に春から秋にかけては、音楽付きの大噴水ショーが開催され、幻想的な雰囲気を楽しむことができます。ピクニックエリアも設けられています。

レベル3：トリアノンと王妃の村

宮殿から少し離れた場所にある、より親密で落ち着いたエリアです。プチ・トリアノンとグラン・トリアノンにはマリー・アントワネットやナポレオンの痕跡が残っており、王妃の村では18世紀の田舎生活を再現しています。家族連れや歴史好きには特におすすめのゾーンです。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス

エレベーターの利用やバリアフリー対応されたルートがありますが、一部の歴史的サロンでは制限があります。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け

王妃の村や広大な庭園で遊べるため、家族連れに最適です。

🎧 オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



必見スポット

選択

必見の部屋と隠れた名所

01 王の階

鏡の間（ Galerie des Glaces ）

長さが70メートルにも及ぶこの廊下は、17面の大窓とそれに対応する17面の鏡で構成されています。鏡は当時高価な輸入品であり、その存在自体がフランスの経済力と技術力を示すシンボルでした。天井のフレスコ画はルイ14世の武功を描いています。

> 💡 鏡の数は正確に17面で、窓の数と一致しています。これは光を最大限に取り入れ、室内を明るく保つための計算されたデザインです。

02 王の私室

太陽の間（ Salle du Roi ）

宮殿の地理的中心に位置し、ルイ14世の寝室として使用されていました。赤いビロードの装飾と金箔が施された家具は、太陽王の権威を象徴しています。朝の起床儀式（ Lever ）が行われた場所で、貴族たちは王の枕元に近づけることを名誉と考えていました。

> 💡 この部屋は宮殿の真ん中にあるため、どの方向からもアクセスでき、王の影響力が四方八方に及ぶことを示唆しています。

03 トリアノン地区

王妃の村（ Le Hameau de la Reine ）

マリー・アントワネットが理想化された田舎暮らしを営んだ場所です。16棟の建物から成り、農場や牧草地、小さな港が含まれています。本物の農民ではなく、宮廷人が役者を演じるような遊び心のある空間でしたが、革命的な文脈では批判の対象ともなりました。

> 💡 王妃はこの場所で牛乳を絞り、バターを作っていたと言われていますが、実際には宮仕えの人々が代わりに作業していました。

04

庭園

大運河（ Grand Canal ）

長さ1.5キロメートル、幅100メートルの巨大な水路で、ボート遊びのために造られました。ルイ14世はここで水上オペラや宴会を開催し、臣下に富と権力を誇示しました。現在は周囲の森を眺めながら散歩するのに最適な場所です。

> 💡 この運河の水は、ポンパドゥールの丘からの導水管によって供給されており、当時の水力工学の粋を集めたものです。

05

王の階

戦いの間（ Salle de Guerre ）

鏡の間の両端にある大きなサロンの一つで、ルイ14世の軍事勝利が描かれています。赤と金の配色は力強さを感じさせ、天井の絵画はスペイン継承戦争などの出来事を記念しています。外交交渉も行われた重要な空間です。

> 💡 この部屋の名前は、元々「アポロの間」と呼ばれていましたが、後に変更されました。

06

王の階

平和の間（ Salle de Paix ）

戦いの間の反対側にあり、外交と平和をテーマとしています。青と金の配色は冷静さと知性を表現しており、天井のフレスコ画は各地域との友好関係を祝っています。鏡の間への入口としても機能し、格式高い迎賓スペースでした。

> 💡 戦いの間と平和の間は、王の二面的な役割、つまり戦士としての側面と統治者としての側面を表しています。

07

トリアノン地区

プチ・トリアノン（ Petit Trianon ）

マリー・アントワネットが愛用した小さな宮殿で、新古典主義建築の傑作です。白亜の外観と簡素な内部装飾は、バロック様式の宮殿とは対照的です。彼女が友人たちとプライベートな時間を過ごした場所であり、自由な雰囲気が残っています。

> 💡 王妃はこの場所で歌劇団を設立し、自らも出演していました。

08

独立施設

テニス館（ Salle du Jeu de Paume ）

フランス革命の象徴的な場所です。1789年6月20日、第三身分の代表者がここに集まり、憲法制定を誓約しました（テニス館の誓い）。現在は博物館として公開されており、革命の始まりを学ぶことができます。

> 💡 この建物は元々テニス用のコートでしたが、革命の舞台となったことで歴史的不滅の場所となりました。

アドバイス

プロガイドの裏技アドバイス

TIMING
開門時の9時ちょうどに到着し、セキュリティチェックを素早く通過してください。午前中は混雑が少なく、主要な部屋をゆっくり楽しめます。

BILLET
必ず公式サイトで事前に予約し、「城＋庭園＋トリアノン」の組み合わせチケットを購入してください。当日券は売り切れリスクがあります。

PARCOURS
宮殿→庭園→トリアノン/王妃の村の順で回るのが最適です。午後に徐々に人が減るエリアで終了し、穏やかな見学を終えましょう。

PHOTO
城内ではフラッシュ禁止ですが、夜景モードやISO感度を上げて撮影すれば、鏡の間の美しさを損なわずに残せます。

PAUSE
城内のレストランは高額なので、庭園用に軽いピクニックを持参しましょう。大運河付近の指定エリアで休憩できます。

ENFANTS
子供たちは王妃の村で遊べるので喜ぶでしょう。ただし、城内の狭い階段では大型ベビーカーの操作が難しいので注意が必要です。

AUDIOGUIDE
無料アプリをダウンロードし、インタラクティブマップと音声ツアーを活用してください。815ヘクタールの敷地内で迷うのを防ぎます。

CONFORT
石畳や芝生の上を歩くので、安定した靴を履いてください。ハイヒールは避け、快適なスニーカーを選びましょう。



よくある質問

よくある質問

チケットは何日前までに予約する必要がありますか？

正確な時間帯を保証するために、少なくとも2週間前、夏や週末にはそれ以上の予約をお勧めします。ハイシーズンにはチケットはすぐに売り切れます。予約なしでは、城内に入れないリスクがあります。

月の最初の日曜日は本当に無料ですか？

はい、入場は無料ですが、無料入場の場合でも予約は必須です。その日の混雑は非常に激しいです。長い待ち時間を承知の上でいる場合のみ、これらの日付を優先してください。

「城」チケットと「ドメイン」チケットの違いは何ですか？

城チケットには通常庭園が含まれます（天候次第）が、ドメインチケットにはトリヤノンと王妃村が含まれます。初訪問の場合は、組み合わせチケットが推奨されます。これにより、複数の移動を避け、すべての体験をカバーできます。

予約をキャンセルまたは変更できますか？

キャンセルポリシーはオファーによって異なります。購入時に特定の条件を確認してください。多くの場合、訪問の24時間または48時間前まで無料キャンセルが可能です。確認メールを必ず保管してください。

混雑を避けるためのどのルートを取るべきですか？

開門時に城から始めて、次に庭園、そして徐々に空いていくトリヤノン/王妃村で終わることをお勧めします。チェックポイントを通過するために、予約時間の10分前に到着してください。この逆戦略により、午前中の後半に静かな空間を楽しむことができます。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

2,300室の巨大複合施設

恒久的な王族居住地

8,000ヘクタールから815ヘクタールへ

謙虚な起源：風車

博物館周辺

宮殿見学後は、周辺エリアもぜひ探索しましょう。サン＝ルイ教会にはルイ13世とルイ14世の墓所があり、バロック様式の傑作として必見です。昼食には城の正面にある**Le Café de la Place**がおすすめです。メインファサードとグランド・カナルを望みながら、快適に食事を楽しめます。さらに、市街地中心部には**Musée Lambinet**という現代美術博物館があり、クラシックなヴェルサイユとは対照的な興味深いコントラストを提供します。ショッピングが必要な方は、ヴェルサイユ＝シュトー駅近くの商業センターも便利です。



ヴェルサイユへの訪問は、単なる観光ではなく、歴史の深淵に触れる精神的な旅です。鏡の間の光や王妃の村の静けさを肌で感じれば、あなたは過去と現在をつなぐ架け橋となるでしょう。ぜひ、この永遠の美を心に刻んでください。